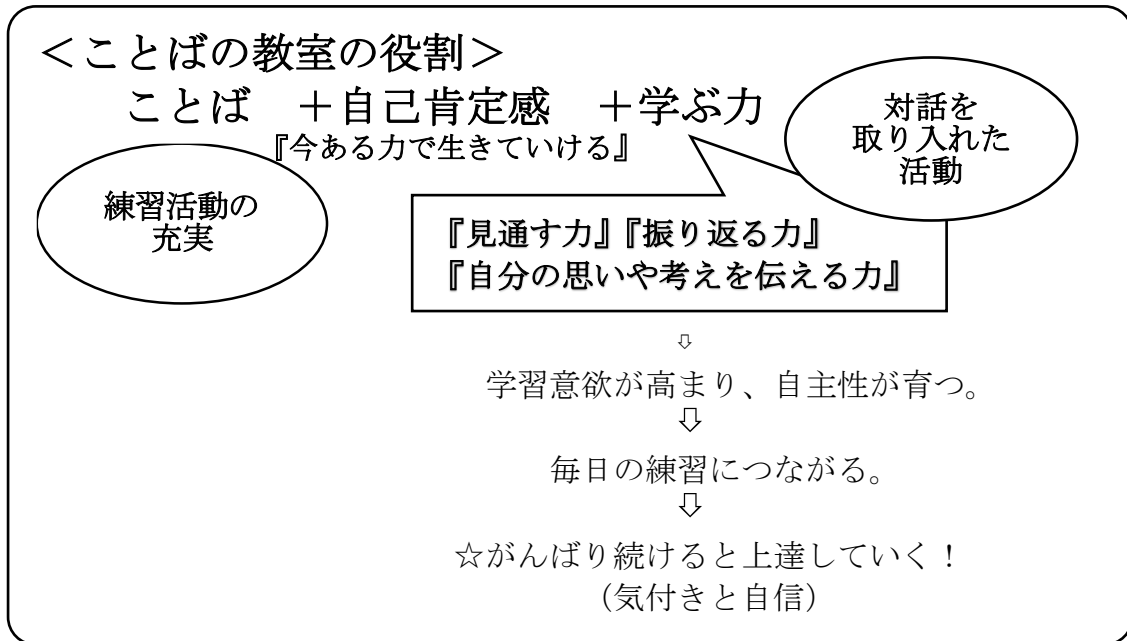


○川南町立川南小学校 ことばの教室 実践事例



ことばの教室は、「発音の仕方」や「語彙を増やす」などのことばの学習だけが目的ではありません。「今は言いにくい音があるけど、自分はこれでやっていけている。学校が楽しい。」「言いやすくなっているから、これからも練習を続けていこう。」と、一人一人の子供たちが、自信をもって前向きに生活できる力を育てる場になるよう目指しています。

○えびの市立加久藤小学校ことばの教室 実践事例

児童や保護者の思いを大切にし、連携を充実させた支援により児童の自立を促すことを目標として、以下のような実践を行った。

- 1 学級担任・保護者との連携
- 2 聞こえと特性に関わる専門機関との連携

成果と課題

- 学級担任との綿密な打ち合わせにより見届けと称賛を行ったことで、学級でも児童が自分の力を発揮できるようになってきた。
- 児童や保護者の思いを大切に常に寄り添い、実態に応じたタイムリーな支援と連携を行ったことによって、よりよい支援体制作りを行うことができ、自立につなげることができた。
- 専門機関と連携し、児童の実態を捉えて適切な支援を行うことで、苦手な分野にも安心して前向きに取り組む姿勢が見られるようになった。
- 毎時間の連絡ファイルだけでなく、それ以外に保護者への理解を深めるための手立てを講じていきたい。
- 特別支援教育への正しい理解を進めるため、保護者、地域への啓発の在り方を工夫する必要がある。